

再生可能エネルギー電力のさらなる拡大に向けて基本合意書を締結
～風力発電を活用したバーチャル PPA を推進～

西日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：長谷川 一明、以下「JR 西日本」）、コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）、コスモエコパワー株式会社（代表取締役社長：野地 雅禎、以下「コスモエコパワー」）は、発電の方法や立地条件等による制約が少ないバーチャル PPA（発電量に応じた環境価値のみを直接購入する契約）を活用し、列車運転など鉄道事業の使用電力に対する再生可能エネルギー電力（以下「再エネ電力」）のさらなる拡大に関する協議を進めていくため、基本合意書を締結しました。

JR 西日本グループは、環境長期目標「JR 西日本グループゼロカーボン 2050」を掲げ、グループ全体の CO₂ 排出量を 2030 年度に 50%削減（2013 年度比）、2050 年に「実質ゼロ」とすることを目指しています。その目標達成に向けた取り組みの一つとして、再エネ電力の導入拡大をめざしています。

コスモエコパワーは、1997 年の創業以来 41 か所 220 基の陸上風力発電の開発を行い（2024 年 6 月末時点で 18 か所 130 基を運営）、国内でもトップクラスの開発・運営実績を誇っている企業です。また、コスモエネルギーグループでは「2050 年カーボンネットゼロ」の実現に向けた取り組み方針の一つとして「グリーン電力サプライチェーン強化」を掲げており、風力発電によるコーポレート PPA をはじめとした再エネ電力の供給拡大をめざしています。

本件は、長年にわたる気動車等の燃料油供給における関係性を基礎に、カーボンニュートラル社会の実現に向けた両社の想いが合致したものです。今後もカーボンニュートラル社会の実現に向け、互いの取り組みを加速してまいります。



[本件のバーチャル PPA※のイメージ]

※PPA：Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略称